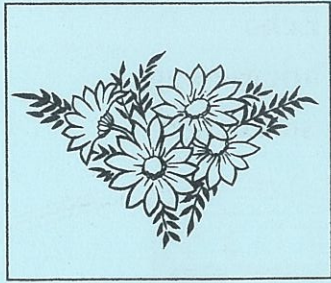


お祝いのことば



川崎市長 阿部孝夫

第15回登戸混声合唱団チャリティー「ひとひらのあいコンサート」の開催おめでとうございます。

今年も「ひとひらのあいコンサート」の季節がまいました。毎年、登戸混声合唱団のあたたかい歌声を楽しみにしている地域の方々も大勢いらっしゃいます。団長・指揮者をはじめ団員の皆様の熱心な活動の成果だと思えます。

また、15年の永きにわたり本コンサートを継続され、社会福祉の向上にも多大な貢献をされたことに、心から感謝申し上げます。

さらに、本年は国際交流活動としてドイツのリューベックとオーストリアのザルツブルクで、それぞれ友好都市10周年記念コンサートを開催され、大成功をおさめられたことに敬意を表します。

音楽は、人々に心のゆとりと潤いを与え、人生を豊かにし、健全な社会形成へとつながるものと思えます。

そうした意味でも、登戸混声合唱団のますますのご活躍とご発展をお祈りして、お祝いの挨拶といたします。

このコンサートには、心身に障害をもった方々をご招待しております。どうぞご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、会場での募金は、その全額に団員の志を加え、毎年、川崎市社会福祉協議会に寄託してまいりました。

昨年寄託額は120,717円。これまでのトータルは、1,372,646円となっておりますことをご報告いたします。

商品提供・花王株式会社

《出演者》

◆ソプラノ	横倉 万里子	◆テノール
石川 俊恵	吉田 智子	小島 修
市岡 美奈	渡部 信子	成瀬 宗宏
勝裕智賀子		西田 誠
草野 暁子	◆アルト	
須山久美子	岩田 朋子	◆バス
関戸 優	熊谷 淳子	今村 勝行
土屋ひろみ	高橋 尚子	小沢 精三
花島 佳子	中場 裕子	高野 晴行
土方 和江	成瀬 文子	高橋 生郎
日下 久江	根村 道子	清水 義昭
平原みち子	松本 伸子	野村 勇雄
宮下とも子	松本 寛子	宮村 寛
	森川 順子	山吉 一成
	吉田ヒサ子	渡邊 保

登戸混声合唱団 団員募集中 指導・指揮 片野秀俊先生

練習日 = 毎週火曜日 pm. 7:00~9:00

会場 = 多摩市民館 or 麻生市民館

連絡先 = Tel. 044-976-2362 渡部 (夜間)

Tel. 03-3488-0889 根村

<http://www.geocoties.co.jp/Hollywood.Miyuki/1723>



後援

川崎市・川崎市教育委員会・川崎市社会福祉協議会
朝日新聞・東京新聞・毎日新聞(各川崎支局)・神奈川新聞社・読売新聞
川崎市合唱連盟/東京都合唱連盟/JCDI日本合唱指揮者協会

Voice Space "NOVO" 登戸混声合唱団 the 28th concert

チャリティー No.15

ひとひらの あい コンサート



2002年12月22日(日)p.m. 1:30 多摩市民館大ホール



感謝の心をこめて

早いもので、このコンサートも15回目を迎えました。こんなにも永く続けてこられましたのは、このコンサートをあたたかく応援して下さる皆様のおかげと、心から感謝しております。

今回はゲストに、日本では珍しいアルペンホルンを演奏して下さるグループをお招きしました。どうぞ、アルプスの響をお楽しみ下さい。

今年は、川崎市と友好都市である、ドイツのリューベック市とオーストリアのザルツブルク市で、現地の合唱団と交流コンサートをしてまいりました。合唱が、ヨーロッパの古い歴史の中で育まれたことを、世界遺産の美しい都市で、しみじみ感じました。また、合唱の原点である大聖堂いっばいに、私たちの合唱を響かせる機会にも恵まれました。

こうして得たものを、このコンサートに反映できればと願っています。

この10年余、皆様へのプレゼントとして、たくさんの商品をご提供くださる花王株式会社様に、15回を迎えた機会にあらためて厚く御礼申し上げます。

登戸混声合唱団
団長 根村道子

プログラム

指揮とお話 片野秀俊
アルペンホルン 玉川アルプホルンクラブ
ピアノ 井熊康子

1st STAGE

Regina Caeli グレゴリオ聖歌
Alma Redemptoris Mater F.Guerrero 曲

2nd STAGE

混声合唱組曲「心の四季」より 吉野 弘 詩
高田三郎 曲

風が
みずすまし
雪の日に

故郷 高野辰之 詩/岡野貞一 曲/萩原英彦 編曲
さくら 日本古謡/片野亮子 編曲
ほたる 小倉 朗 曲
箱根八里 鳥居 忱 詩/滝 廉太郎 曲/林 光 編曲
富士山 文部省唱歌/萩原英彦 編曲

— 休憩 —

片野秀俊(かたの・ひでとし)

プロ合唱団・日本合唱協会(日唱)において、長年にわたり、音楽監督をつとめた故・山田一雄氏(現在、永久名誉監督)の薫陶を受け、1985年、第68回定期演奏会を指揮して指揮者に就任。定期演奏会、特別演奏会他、同団メンバーを伴って全国各地で演奏活動を行っている。NHKラジオ「みんなのコラス」解説者、NHK TV「名曲アルバム」「さわやかみんなのハーモニー」他出演。「教育音楽」など音楽雑誌への執筆をする一方、アマチュア合唱団の育成にも力をそそいでいる。また、日本ニューフィルハーモニー管弦楽団、東京ゾリステン、楽友協会管弦楽団、日本邦楽アンサンブルなどオーケストラの指揮も数多い。

NHK全国音楽コンクール、全日本合唱コンクール審査員。東京都合唱連盟副理事長。指揮法を山田一雄、ヘルムート・リリング、若杉弘他、演奏法を平井康三郎、清水脩、声楽を下八川圭祐、芳野靖夫他各氏に師事。福島県いわき市出身。登戸混声合唱団創立以来の常任指揮者。

3rd STAGE

アルペンホルン演奏 玉川アルプホルンクラブ
Engelberger Echo
Uider Chrienseregg
De soreberger

みんなで歌いましょう

大きな古時計

保富康午 訳詞/H.C.ワーク 曲/源田俊一郎 編曲

川崎市民の歌

好きです かわさき 愛の街

肥後義子 詩/石本美由起 補作/山本直純 曲

指導・片野秀俊

4th STAGE

神のみ子は 讃美歌
まぶねの中に 讃美歌
メサイアより G.F.ヘンデル 曲
Glory to God
Since by man came death
Amazing grace イギリス民謡/片野秀俊 編曲
ジングルベル ピエールポント 曲/片野秀俊 編曲
聖夜 F.グルーバー 曲

玉川アルプホルンクラブ

1990年厚木市の玉川地区で、公民館の生涯学習講座の中から生まれた、手作りのアルプホルンを演奏するグループです。今までに制作したアルプホルンは130本を越え、会員数も130名、10代から70代まで幅広い年齢層のメンバーが参加しています。日本で使用されるアルプホルンの長さは3.4~3.6mが一般的で、ラップと同様に自分の唇で音階を作りながら演奏する大変原始的な楽器です。毎週4回ほど集まれる人たちが練習をしながら、年間20~30回程度、各地のイベント会場で演奏しています。

井熊康子(いくま・やすこ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。岡林千枝子、平尾はるなの両氏に師事。伴奏に関してはダルトン・ボードウィン、ワルター・モア、ジョルジュ・ブリュデルマッシュェールの各氏に教えを受け、多くの名演奏家のもとで研鑽を積む。京都フランス音楽アカデミー、イーストマン音楽学校夏期セミナーなどに参加。現在は主に声楽、合唱の伴奏者として演奏活動、レコーディングなどを行なっている。1987年、1990年とピアノのデュオによるリサイタルを開催。日本演奏連盟、フランス歌曲研究会会員。登戸混声合唱団のアメリカ、フランス、イタリア、ドイツ等での海外演奏で伴奏をつとめた。